PDF Complete
Your complimentary use period has ended. Thank you for using PDF Complete.
Click Here to upgrade to Unlimited Pages and Expanded Features

平成２６年度　道徳教育の全体計画

里庄中学校

◇教育基本法
◇学校教育法
◇学習指導要領
など

学校の教育目標

「豊かな心と知性をもち、たくましく生きる生徒」の育成

時代や社会の要請

・国際化、情報化などの社会変化への対応と情報モラルの向上
・いじめや不登校など問題行動の解消
・生涯教育の推進

道徳教育の重点目標

・正しい判断の上に立って自主的に考え、責任をもって行動できる生徒の育成（１－３）
・「思いやり」、「支え合う」、「自他を大切にする」ことができる生徒の育成（２－２）

家庭や地域社会の実態と課題

・保護者の学校への関心や期待も高く協力的である。
・比較的固定化された人間関係に浸っているため、競争意識や自己啓発力が弱く、自らを高めていこうとする意識が低い。

教師・保護者の願い

【保護者】
・思いやりのある子
・粘り強い子
・他人に迷惑をかけない子
【教　師】
・思いやりのある生徒
・気づき、考え、実行する生徒

学校研究主題

豊かな関わりの中で、「気づき、考え、実行する」生徒の育成
～地域の力と連携した道徳教育を通して～

各教科

国語	思考力や想像力を養い、言語感覚を豊かにする。コミュニケーション能力を図る。
社会	人間の歴史・国際社会の理解など公民的資質を養う。
数学	筋道を立てて、表現する能力を高める。
理科	自然への理解を深め、科学的な見方や考え方を養う。
音楽	表現や鑑賞を通して、豊かな情操を養う。
美術	作品の制作や鑑賞を通して、個性尊重・美に感動する心を養う。
保体	主体的体験を通して、心身の健康や集団生活に必要な態度を育てる。
技家	製作や体験的な活動を通して、協力する態度や創造性を養う。
英語	言語や文化に関心をもち国際理解に努める。

各学年の重点目標

１年の目標	２年の目標	３年の目標
・集団生活において、望ましい生活習慣を身に付け、自分で判断し、責任をもって行動できる生徒を育てる。 ・相手の立場を尊重し、思いやりの心をもって友人と接することができる生徒を育てる。	・学校生活の中堅として自覚をもち、何事にも主体的・積極的に活動できる生徒を育てる。 ・より良い生活を築くため、思いやりの心をもち、集団に貢献しようという態度を育てる。	・最上級生としての自覚をもち、自己の役割や責任を果たし、協力し合って集団生活の向上に努める生徒を育てる。 ・他者とのふれあいの場として社会をとらえ、思いやりを基調としたよりよい社会を築こうという態度を育てる。

総合的な学習の時間

・自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てる。
・学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的に取り組む態度を育て、自己の生き方ができるようにする。

特別活動

A 学級活動	・学級生活を基盤とし、集団成員としての望ましい資質・態度を育てる。
B 生徒会活動	・生徒会行事などの体験を通して、互いに思いやる態度を育てる。 ・主体的に考え、行動する態度を育てる。
C 学校行事	・諸行事での体験を通して、自主性・協調性及び豊かな心情を育成する。

人権教育

・全教職員の共通理解を図り、日常の教育活動における実践を通して、人権を尊重する生徒を育成する。

道徳の時間の指導方針

年間指導計画に基づき、一人一人の生徒が道徳的価値の自覚を深め、実践力が培われるように育成する。
・道徳教育を補充、深化、統合する「かなめ」の時間とする。
・特別活動や総合的な学習の時間などと密接に関連させ、生かしていく。
・資料の整備や指導方法の工夫に努め、より意義のある時間にする。
・ゲストティーチャー等指導方法を工夫する。
・グループ学習、全体学習、ロールプレイング等の活動形態を工夫する。
・「私たちの道徳」の活用方法を工夫する。

日常生活における生徒指導との関連

・共感的な人間関係の育成を図るとともに生徒一人一人が目標をもって将来を展望し、自己実現が図れるようにする。

進路指導

・生徒一人一人が自分の将来や生き方を考え、自分にふさわしい進路選択ができるようにする。

道徳的実践の場

学校、学級における教育環境の整備計画

道徳教育を効果的にすすめ、人間として生き方についての自覚を深めるための環境づくりに努める。
・人間関係の充実
・校舎・校庭や教室の整備

学校生活における豊かな体験の計画

道徳的心情を高め、道徳的実践を促すための豊かな体験の場の充実に努める。
・各教科等の授業　・特別活動
・部活動

家庭・地域社会との連携

学校だより・学年通信・学級通信・ＰＴＡ新聞などを通して家庭や地域社会との連携を図り、交流を密にし、協力体制を整える。
・各種通信　・ＰＴＡ活動　・ＨＰ
・地域行事　・学校・家庭・地域連絡会